

今年のアユの遡上状況

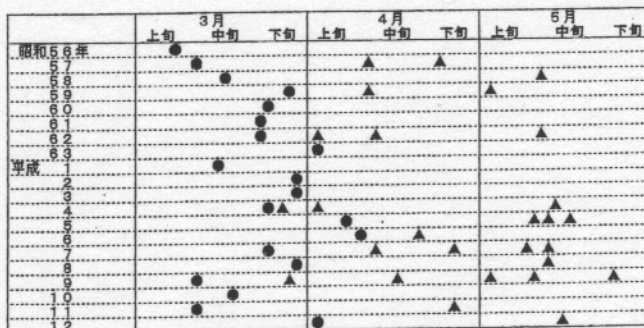
大北川、久慈川、那珂川、鬼怒川で投網によるアユの遡上状況調査の結果をお知らせします。

【遡上の時期】

今年は何れの河川でも遡上の始まり、盛期ともに昨年より遅れました。久慈川下流域での初採捕は4月2日で3月上旬に採捕された昨年より約3週間遅く、主群の遡上も昨年の4月中下旬に対し5月上中旬でした(図1)。

しかし今年が特に遅いのではなく、昭和56年より行ってきた本調査の結果では、初採捕は3月下旬が最も多く、後期群の遡上は5月上中旬が多いので、河川にもよりますが、やや遅い程度といえます。

遡上が遅れた原因としては、沿岸海水温が2月以降低めであったことが挙げられます。久慈川では3月末に沿岸水温が11℃台まで上昇した後、遡上魚が見られるようになり、5月上中旬には7～8cmの後期群が中下流で多数採捕されました。



●は初採捕日。▲は10投網あたり30尾以上の採捕。

図1 久慈川下流域での投網調査の採捕状況

【遡上量】

久慈川では4月中は調査中に大きな遡上群を見ることが出来ませんでしたが、5月上中旬は投網の採捕、堰での様子から、遡上が順調で下流域での尾数が多いと思われました(図2)。

しかし同時期に上流にはあまり見られませんでしたので、全体に分散すれば、昨年程度かやや少なく、特に多い年ではないと思われます。ちなみに昨年は最近4年間行っている友釣り漁獲調査で漁獲尾数が中程度の年でした。

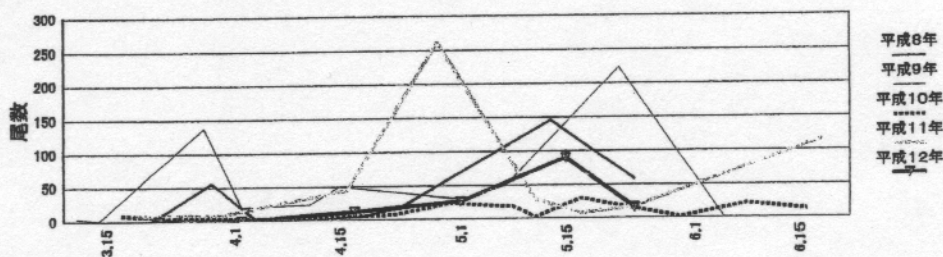


図2 久慈川下流での投網10回あたりの採捕尾数

【遡上魚の大きさ】

久慈川での初期の遡上魚の大きさは、やや小さく9cm台でしたが、他の河川では昨年と同様10cm台でした。遡上盛期は全長7cm台で昨年と同様でした。

解禁までの成長について、遡上の遅れ、4月の河川水温が近年では低めであったこともあって心配されましたが、6月の友釣りの魚体(山方町の岩井橋)は平均53グラム(全長15～20cm)で、早期群の成長が順調であったことが伺えます。

例年の漁獲サイズ(図3)を見ると、8月まで解禁時を下回ることは少ないので、解禁時に10cm前後であった後期群は、7～8月に6月と同様のサイズで釣られるものと思われます。

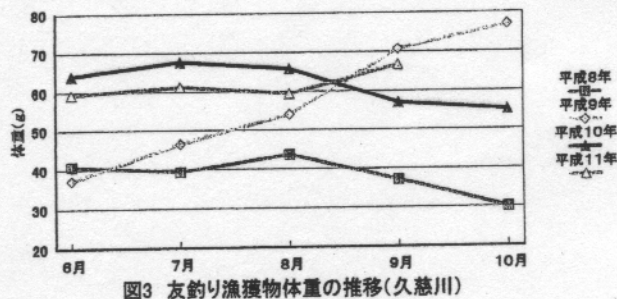


図3 友釣り漁獲物体重の推移(久慈川)

【河川等の環境】

河川水量は、3月以降、常に多めで遡上に支障のない状況でした。

沿岸海水温は、昨年秋季は平年より高く、2月になって平年より1～3℃低くなりました。

担当：里美支場 (TEL: 0294-82-2448)

茨城県内水面水産試験場 (TEL: 0299-55-0324)